

1 三種町の概要

人口	16,000 人
保護率	1.64 %

※福祉事務所設置町村なし

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	4.8
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.8
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.4
就労・増収率(%)	50.0

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約、随意契約）
事業費	3,620千円（平成30年度）
理由（委託）	○三種町社会福祉協議会は、様々な課題を抱える生活困窮世帯への支援活動を実施している。コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）が在籍しているため、子どもの面談や親への養育支援等にも対応可能である。
事業概要	○学習支援員4名、運営スタッフ1名を配置。 ○生活保護世帯、就学援助利用世帯、ひとり親世帯の中学生。 ○週1回、学習習慣と基礎学力を身に付けられるよう、学習支援員が問題の解き方や学習の進め方を助言。 ○保護者の送迎が困難な子どもには送迎対応。 ○進学費用や生活相談等、保護者の悩みにCSWが対応。
課題	○対象者が生活困窮世帯に属する子どものため、広く周知することが難しい。
その他特記事項	○三種町で実施している『集合型』のほか、対象となる子どもの人数が少ない町村では、学習支援員を個別に家庭に派遣する『訪問型』の形態で実施している。 ○訪問型の対象は、生活保護世帯、就学援助制度利用世帯の中学3年生。

4 事業実績（H30年度）

実利用者数	中学生	その他	計
生活困窮	9	0	9
生活保護	1	0	1

5 事業実施のポイント ～生きる力を育むサポート～

～地域で活動する人達や様々な職業人を招いての体験型学習～

- EMせっけんづくりで環境問題について学ぶ
- 子ども達から要望の多かった看護師や、スイーツづくりを通じて洋菓子職人という職業について学ぶ



洋菓子職人さんにケーキづくりを教わりながら、菓子職人を目指したきっかけや仕事の内容など、直接お話を聞くことができました。



看護師さんから、仕事の魅力やどうしたら看護師になることができるか、などを教えていただきました。

～保護者との情報交換～

- 自宅学習のポイント、学習の様子、スタッフ紹介などを掲載した「学習支援通信」を毎月発行

～学校との情報共有～

- 教育委員会の協力で、事業に参加している子ども達の様子を学校現場と情報共有

6 取り組んで良かったこと

地域で活動する様々な立場の人たちや、社会福祉士実習生、大学ゼミ生など多くの人たちと交流を図り、事業の主旨を理解してもらうことができた。子ども達自身も地域に多くの支援者がいることを実感できた。

- ◆利用した保護者のアンケート結果から
 - ・勉強するという気持ちが芽生えた。
 - ・誰とでも気軽に会話できるようになった。
 - ・決まった時間に勉強に集中できるし、他の子ども達も一生懸命なので刺激になっていると思う。